



みみだより

No.53

鳥取聾学校ひまわり分校

聴能担当 R6.9.13

この夏、一番の盛り上がりを見せた2024パリオリンピック・パラリンピックが閉幕しました。そして、2学期が始まり2週間がたち、そろそろ生活のリズムが戻ってきた頃かと思えます。学校生活のことに加え、改めて補聴器・人工内耳の管理も丁寧にしていきたいですね。ところで、夏休みの間、補聴器・人工内耳の管理はきちんとできたでしょうか…？

**直接耳に入れる「イヤモード」、
きれいにしているかな？**

補聴器・人工内耳の点検をしていると、耳あかがイヤモードの中に入り込んでいるのを見ることがあります。イヤモードとチューブ内なら、お手入れをしてきれいにすることができますが、時々フックの方にまで入り込んでいることがあり、そうなるとお手入れが厄介になります。また、耳あかには、補聴器の内部まで侵入してしまうものもあるそうです。ある補聴器メーカーでは、補聴器の修理依頼の約60%は耳あかや異物が内部に侵入することによって引き起こされているとのこと。イヤモードをきれいにしておくことが、故障の予防につながるかわかりますね。

また、イヤモードの汚れは耳が赤くなったり、かゆくなったりするトラブルのもととなります。毎日清潔なイヤモードをつけたいですね。

そこで、今回は汚れがひどい場合のイヤモードの掃除の仕方をご紹介します。



**補聴器・人工内耳
本体は
水にぬらさないで！**

**水分をしっかりと取ってから
補聴器・人工内耳の本体に取り付けましょう！**

めがねなどを洗浄する超音波洗浄器や、哺乳瓶用消毒液、入れ歯洗浄剤(4分の1ぐらいの大きさにして)を使って除菌するのも効果的です！



補聴器店では、機械を使用した掃除、補聴器特性装置を使用した詳細な点検や補聴器の出力の再調整も可能です。3か月に1回程度、補聴器店での定期メンテナンスがオススメです。



**ワンポイント
手話**



「決める」

「～だけ」

「おやこ手話してん」より

